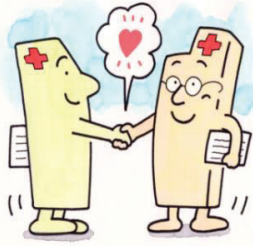


第 219号

# 連携室だより



公益財団法人  
北海道医療団

## 帯広第一病院



### 帯広第一病院理念・基本方針

【理念】

地域に信頼される病院を目指し、質の高い、思いやりのある医療サービスを提供する。

【基本方針】

- 1 患者の皆様の安全と権利を守ります。
- 2 地域医療機関との連携を推進します。
- 3 救急医療の充実に努めます。
- 4 研修や教育を積極的に行います。
- 5 働きがいのある職場を作ります。

## 令和6年度新入職員歓迎式



帯広第一病院



帯広西病院



介護老人保健施設とかち



音更病院

Zoomで各施設へ理事長の挨拶をライブ配信しました！

## 今号の内容

- ・理事長就任のご挨拶 北海道医療団 理事長 三浦 雅人 ..... (2)
- ・新任医師紹介 ..... (3) (4) (5)
- ・救急センター長就任のご挨拶 救急センター長 土屋 朗之 / 臨床病理検討会のご報告 副院長 井伊 貴幸 (6)

## 理事長就任のご挨拶

北海道医療団 理事長 三浦 雅人



4月1日に公益財団法人北海道医療団の理事長に就任した三浦です。

この3月までは秋田県厚生連・大曲厚生医療センターの院長をしておりました。東北大学消化器内科正宗教授のご高配により帯広にやってくることになりましたが、帯広第一病院には平成元年に短期間の出張で一度勤務したことがあります。

その頃、私は大学で肝臓の研究をしておりましたが、当時の帯広第一病院の但木院長、太田副院長、帯広西病院の清水院長、音更病院の菅原院長、いずれの先生方も東北大学肝臓グループの大先輩であり大変お世話になりました。また、食事も美味しく、とても楽しかった思い出があります。

さて、それから30年以上が経過し、帯広を訪れたわけですが、医療、介護をとりまく社会状況は大きく変化しました。特に地方における人口減少、少子高齢化の進行の問題は深刻です。そのような中、北海道医療団を公益財団法人として維持するためにはより一層地域の皆様との密接な関係が不可欠だと考えております。

今まで以上に住民の皆様から愛される医療・介護施設であるように日々努めて参る所存ですので、変わらぬご支援をいただければ幸いです。よろしくお願いいたします。

### 法人のロゴについて

大きなひし形は北海道のカタチを表現しており、北海道の医療を支えるという意味を持ちます。またキーとなる5つの色はそれぞれに医療や福祉の現場において大切な意味を持ちます。これらの5色を虹のようにグラデーションさせ、人と医療をつなぐ架け橋を表現しました。

 …生命  …清潔  …思いやり  …優しさ  …健康





## 新任医師紹介

～4月より着任されました8名の先生方にインタビューをしました～



### 総合診療科

専門分野：消化器外科

みずかみ たつぞう

水上 達三

平成19年3月 北海道大学医学部医学科 卒業

前勤務先 KKR札幌医療センター

令和6年4月 帯広第一病院 着任

#### 1 総合診療科を選んだ理由

今年50才を迎え、ワークライフバランスを考えた際に、帯広第一病院で総合診療医として働いてみようと思いました。

#### 2 当院の印象

診療科が少ないにも関わらず、多岐に渡る疾患の治療にあたっており頑張っている印象を受けました。

#### 3 当院でやりたいことは？

これまで急性期の患者様を中心に診てきましたが、生活習慣病などの慢性疾患にも慣れていけたらと思います。

#### 4 これからの抱負

マンパワー不足の解消の一助となれればと思います。

#### 5 地域の先生方へ一言

まずは急性期の患者様の治療が中心になるとは思いますが、マンパワー不足なので患者様の病態が改善すれば早めに関与していただくとありがたいです。



### 総合診療科

専門分野：総合診療科

なかむら かずひろ

中村 和史

昭和63年3月 広島大学医学部医学科 卒業

前勤務先 日本赤十字社多可赤十字病院

令和6年4月 帯広第一病院 着任

#### 1 総合診療科を選んだ理由

幅広く色々な疾患を診察できることと、患者様・ご家族様が病院にかかる際の窓口になりたいとの思いからです。

#### 2 当院の印象

着任早々のため、これからわかっていくことと思います。

#### 3 当院でやりたいことは？

僭越ながら、十勝地域の皆様から信頼される当院の窓口メンバーのひとりになればと思います。

#### 4 これからの抱負

自身のモットーとしていつも笑顔で、そして患者様から頼りにされる存在でありたいと思っています。

#### 5 地域の先生方へ一言

関西出身で帯広はもちろん北海道での勤務もはじめてのため、ご迷惑をおかけすることも多いと思いますが、どうぞよろしくお願い致します。



### 循環器内科

専門分野：循環器内科

いしもと ろう

石本 朗

平成元年3月 札幌医科大学医学部医学科 卒業

前勤務先 帯広協会病院

令和6年4月 帯広第一病院 着任

#### 1 循環器内科を選んだ理由

心雑音を聴診し心臓弁膜症の鑑別が出来ることに惹かれました。

#### 2 当院の印象

優しく受け入れて頂き大変うれしく感じます。

#### 3 当院でやりたいことは？

これまでに積み重ねたことをお役に立てるように願っています。

#### 4 これからの抱負

不安はありますが少しずつ環境に慣れてゆきたいと考えています。

#### 5 地域の先生方へ一言

少しでも貢献できるように尽力したいと思います。



## 消化器内科

専門分野：消化器内科（上部消化管）

すどう こういちろう

須藤 洗一郎

平成28年3月 東北大学医学部医学科 卒業

令和6年3月 東北大学大学院医学系研究科 修了

令和6年4月 帯広第一病院 着任

### 1 消化器内科を選んだ理由

初期研修中に様々な科をローテーションの中で、内視鏡検査や治療が面白そうと感じたからです。早期の消化管の癌であれば取り切れることにも魅力を感じます。

### 2 当院の印象

皆様和気あいあいとしており、楽しく働くことができそうです。

### 3 当院でやりたいことは？

検査・治療技術の向上に努めていきたいです。

### 4 これからの抱負

なによりも患者様のご意思を尊重した医療を提供しつつ症例から学ぶ姿勢を大事にしています。

### 5 地域の先生方へ一言

十勝地域の医療に貢献できるよう力を尽くします。皆様どうぞよろしくお願い申し上げます。



## 消化器外科

専門分野：消化器外科（腹腔鏡手術）

たちばな ともよし

橘 知睦

平成22年3月 山形大学医学部医学科 卒業

前勤務先 仙台オープン病院

令和6年4月 帯広第一病院 着任

### 1 消化器外科を選んだ理由

手術が好きだからです。

### 2 当院の印象

皆さん親切でアットホームな印象です。

### 3 当院でやりたいことは？

安全に腹腔鏡手術をたくさん行いたいです。

### 4 これからの抱負

十勝の医療に貢献できるように頑張っています。

### 5 地域の先生方へ一言

どんな患者様でもお気軽にご紹介ください。精一杯頑張りますのでよろしくお願い致します。



## 研修医

志望診療科：消化器外科

くまがい けいた

熊谷 圭太

令和6年3月 東北大学医学部医学科 卒業

令和6年4月 帯広第一病院 着任

### 1 消化器外科を選んだ理由

病変に直接アプローチするところに魅力を感じました。

### 2 当院の印象

優しい先生が多く、非常に指導体制が整っていると感じております。

### 3 当院でやりたいことは？

基本的な手技から練習して、応用的なものができるようになりたいと思っています。

### 4 医師になろうと思ったきっかけ

幼馴染が入院した時に、疾患に対してアプローチしていく医師の姿だったり医学という学問が魅力的でやりがいのある仕事だと感じたからです。

### 5 これからの抱負

一生懸命頑張ります。

### 6 地域の先生方へ一言

慣れない土地でわからないことも多々あると思いますが、色々ご指導していただきたく思います。よろしくお願い致します。



## 研修医

志望診療科：消化器外科

うめだ たくみ  
梅田 匠

令和6年3月 東北医科薬科大学医学部医学科 卒業

令和6年4月 帯広第一病院 着任

### 1 消化器外科を選んだ理由

外科手技や腹腔鏡手術に興味をもったからです。

### 2 当院の印象

職員の方々がどんなことでも優しく丁寧に教えてくださり、大変働きやすい環境であると思いました。

### 3 当院でやりたいことは？

外科手術をはじめ、たくさんの経験をさせていただきたいです。

### 4 医師になろうと思ったきっかけ

病気で困っている方の役に立ちたいと思ったからです。

### 5 これからの抱負

一日も早く業務に慣れて、しっかり働けるように努めたいと思っています。

### 6 地域の先生方へ一言

多々ご迷惑をお掛けすると思いますが一生懸命頑張りますので、どうぞよろしくお願い致します。



## 研修医

志望診療科：内科

はまだ あつし  
濱田 篤史

令和6年3月 埼玉医科大学医学部 卒業

令和6年4月 帯広第一病院 着任

### 1 内科を選んだ理由

父が芽室で開業していてその背中がかっこよく、憧れたからです。

### 2 当院の印象

アットホームで職種間での壁を感じないような雰囲気があると感じました。

### 3 当院でやりたいことは？

総合内科の色々な分野の疾患を経験したいです。手技でいえば内視鏡をたくさん経験したいです。

### 4 医師になろうと思ったきっかけ

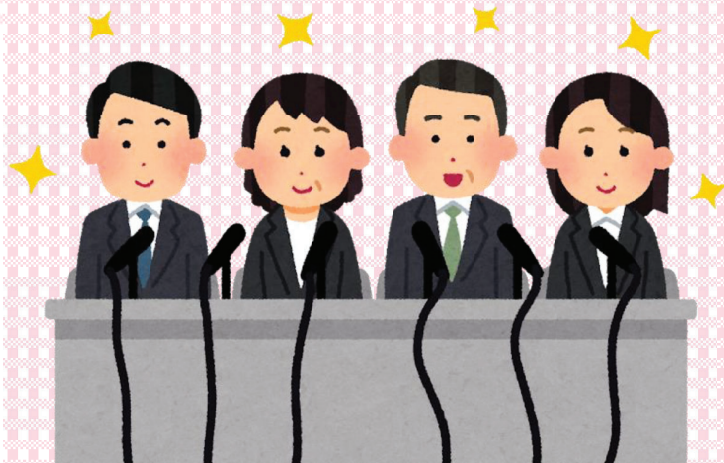
父が開業していたので医者という仕事が一番身近でした。将来は人と関わる仕事、人に感謝される仕事をしたいと思ったからです。

### 5 これからの抱負

ふるさとの医療に関わる医者として、一人前になれるように努力します。

### 6 地域の先生方へ一言

将来は十勝に定住し、医者として働きたいと思っています。現在十勝の医療を担っている先生方に追いつけるように頑張ってまいりますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。



## 救急センター長就任のご挨拶

### 救急センター長 土屋 朗之



令和5年4月より仙台オープン病院から帯広第一病院外科に赴任し、令和6年4月から救急センター長を拝命した土屋朗之です。まだまだ引率者としては若輩者であり、自己研鑽を続けながら、各専門診療科との連携によって、救急医療に取り組んでいきたいと思っております。

当センターでは、特に腹部疾患に関する診療に力を入れており、その分野において高度な専門知識と豊富な経験を持つ医療スタッフが揃っています。

腹部疾患は、その症状や原因が多岐にわたり、時には重篤な状態に至ることもあります。そのため、正確な診断と適切な治療が不可欠です。当院は緊急性の高い腹部疾患に対する、緊急手術や緊急内視鏡など迅速に対応できる体制が整っております。

患者様とその御家族が安心して当院の救急センターを頼りにできるよう、努力してまいりますので今後ともよろしく願います。

## 臨床病理検討会のご報告

### 副院長 井伊 貴幸



地域の先生方には日頃より大変お世話になっております。臨床研修プログラム責任者の井伊です。

2024年3月22日に当院で開催されましたCPC（Clinico-Pathological Conference）についてご報告申し上げます。

CPCは臨床病理検討会と言い、患者さんの剖検を行い、主治医と病理診断を担当する病理医がそれぞれの立場から症例について議論を行う会で、研修医が初期臨床研修2年間のうちに経験することが必須とされています。

死因の究明、治療効果の判定、病態の理解などの意義のほか、珍しい疾患や診断に苦慮した症例などを多面的に検討することで、一つの症例から多くを学びこれからの診療に役立てることが目的です。また、それだけではなく、剖検にご協力いただいた患者さんとその御家族の気持ちに寄り添い、医療者としての誠実な態度、真摯に学ぶ気持ちを育むことも大切なことです。

今回は北海道社会事業協会帯広病院病理診断科の三浦一郎先生にご協力を賜り、1症例の検討が行われました。担当は当院研修医2年目の三塚裕斗先生で、全身皮下転移を認めた進行胃癌症例の発表でした。

皮下転移をきたす内臓癌は2.8-6.7%と稀とされております。本症例では実質臓器への転移が少ない一方で全身のリンパ節転移を認めていたことから、臨床的には血行性転移よりもリンパ行性転移が示唆されましたが、三浦先生からの病理の解説では全身のリンパ節転移の病理所見とともに、皮下転移の生じる機序の説明があり大変勉強になった検討会でした。

明日からの臨床に生かすと共に、ご協力頂きました患者さんと御家族、三浦先生はじめ関係者の方々にこの場をお借りして厚く御礼申し上げます。どうもありがとうございました。



発行 公益財団法人北海道医療団 帯広第一病院 地域医療連携室

〒080-0014 帯広市西4条南15丁目17番地3

TEL 0155-25-3121 (病院代表) / 0120-558-091 (連携室直通)

FAX 0155-27-0248 (連携室専用) e-mail renkei@zhi.or.jp

